

働き方改革最前線



早川敏江社長

り、専業主婦だった当時は、世間にママが働ける環境がなかつた苦い経験がある。

元のママ4人。雇用形態はアルバイトだが、勤務の基本的管理の考えはある。

時間ではなく、一つ一つの仕事にあり、期日までに仕事を終えれば、働く



社長室のキッズルーム

早川社長は直接する

と、その優

しく真面目

の世界で「お客様の味

せることで、厳しい和食

し)なサービスを継続さ

せる

ことで、

厳しい和食

を守り続けていく」と、

和食界のさらなる発展を

見据える。

た。今では

得意先のホ

テルや外食

店など、東海

など、東海

地区唯一。

また、削り

節は京都の料亭が使用す

る

のと同様の「メジマグ

語を使して活躍してい

く

の「血合抜き」をはじめ、

職人が得意先それぞれの

要望に応じて削り節をア

レンジするなど、料理人

からの信頼が厚い。

（海野裕之）

「女性とママの視点」が基本

タキモ本店 柔軟な勤務時間を実現

1760年ごろから名古屋圏の和食文化を支えてきた老舗のタキモ本店が、令和時代においても他社に先駆け働き方改革を進めている。先頭に立つのは創業家出身の早川敏江社長。

改革の基本は「女性とママの視点」で、柔軟な勤務時間と子連れ出勤を可能にするため、社長室の一角にキッズルームを作った。自身も4人の子育てに奮闘した経験があ

り、専業主婦だった当時は、世間にママが働ける環境がなかつた苦い経験がある。

目標したのは、「地域のママの能力を埋もれさせない」こと。

現在は、外資系や大

手コンサルタント出身な

ど、キャリアがありながら子育てという事情で辞

の迎えに行き、その後に子どもと一緒に出勤する

ことも可能だ。

そして数年後、子育て

11歳のアブラハム・

シャーさんは以前、ハロ

ークから「良い子だ

の決断だったが、今まで

通りのマガモなどの特異

り、専業主婦だった当時は、世間にママが働ける環境がなかつた苦い経験がある。

目標したのは、「地域のママの能力を埋もれさせない」こと。

現在は、外資系や大手コンサルタント出身な

ど、キャリアがありながら子育てという事情で辞めざるを得なかつたママたちが、柔軟な勤務時間の中でもその能力をいかんなく發揮している。

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら

が落ち着き、正社員として働くようになつたら